



# 〈国語科〉 よりよい未来にするために出来ることを考えよう

## 橋本市立 応其小学校 第6学年

### 1 指導計画

国語科「未来がよりよくあるために」の単元を用いて計画しました。

時	学習活動	内容
1	「未来がよりよくあるために」を読む。	<ul style="list-style-type: none"><li>• 意見文を書く手順を知る。</li><li>• 意見文の例を読み、自分の興味のあるテーマを考える。</li></ul>
2	世界や日本の現状を知る。	<ul style="list-style-type: none"><li>• インターネットを活用し、現在の社会問題について調べる。</li><li>• 調べた中から、自分の「よりよい未来のために出来ること」を考え、意見文のテーマを決める。</li></ul> 
3	昔の社会について調べる。	<ul style="list-style-type: none"><li>• 図書室の本を活用し、自分のテーマに関わる昔の社会問題や、社会情勢について調べる。</li><li>• 昔から現代社会までの変化の流れを知ること、よりよい未来のために自分が出来ることを具体的に考える。</li></ul> 
4	構成表を書く。	<ul style="list-style-type: none"><li>• 主張、根拠となる出来事や資料、予想される反論と返答、まとめに分けて、文章の構成表を書く。</li></ul>
5	意見文を書く。	<ul style="list-style-type: none"><li>• 意見文の例を参考に、構成表を見ながら意見文を書く。</li></ul>
6	意見文を読みあう。	<ul style="list-style-type: none"><li>• 友達の意見文を読み、誤字等の確認をしたり、内容について議論したりする。</li><li>• 参考にした本をその場に用意しておくことで、資料を見ながら意見を交流する。</li></ul>

## 2 本の活用方法

- 現在の日本や世界の社会問題や社会情勢を知るためには、インターネットを活用した方が、最新の情報を得られると児童は考えたため、現状を知る時間にはインターネットでの調べ学習を行わせた。しかし、昔の社会を知る際には、インターネットでは情報が多すぎて、テーマに合わせた情報を得ることが難しかった。



時代ごとに社会の出来事がまとめられた本や、出来事に合わせてまとめられた本（例えば、ボランティア活動、戦争、福祉の問題 等）を活用することで、時代の流れとともに社会がどのように良くなってきたかを知ることができた。

- 意見文を読みあう際には、教室に、使用した本を用意しておき、読み合う中で出てきた質問や内容の詳細について、再度本を活用することができた。



再度本を読み返すことで、意見文の説得力を増すための情報を得られた児童もいた。

## 3 児童生徒の様子

児童ははじめ、情報を素早く手に入れることのできるインターネットの方が、調べやすくてたくさんの情報を得ることができると考えていた。しかし、「よりよい未来にするための方法」という広いテーマの中で、的確な情報を得るには、インターネットでは情報量が多すぎたため、内容ごとにまとめられた本の方が、欲しい情報を得やすいということに気付いた。

また、画面上でしか見られず、手元に情報を取り出せないインターネットよりも、すぐに読み返すことのできる本を近くに置いておくことで、意見文を再考する際にも、役立たせることができた。参考にした本を教室に配置し、すぐに読めるようにしたことで、意見文を書いた児童も、読んだ児童も、資料の情報を確かめながら、説得力のある意見文にしようとすることができ、手元に置いておける本の良さを実感していた。

### ○成果と課題（今後の方向性等）

今回の学習を通して、多くの児童が、調べたい内容に合わせて活用するメディアを選択していくべきだということに気付くことができた。今までは、活字の本で調べることに抵抗のあった児童たちだったが、情報を絞ってまとめられた本を利用することの良さに気づき、関連する本を探そうとする児童もいた。

学校図書館において、新しい情報を得るための本をすぐに購入することは難しいが、各公立図書館などから本を借りて、学習内容に合わせた本を児童の身近なところに用意することも大切なのだと感じた。そうすることで、インターネットを選択しがちな児童が、本の良さに気付く機会を作ることにつながると思う。また、児童が本に触れる時間を増やせるようにするためにも、このような学校図書館の活用方法を各教科の指導に取り入れていくべきだと考える。